

8月臨時会

臨時会が8月7日に開かれ、提出された議案は原案のとおり可決されました。

〔可決〕

● 公の施設に係わる指定管理者の指定について

〔公の施設の名称〕

- ・ 山武市成東福祉作業所
- ・ 山武市山武福祉作業所
- ・ 山武市松尾福祉作業所
- ・ 山武市成東老人福祉センター

- ・ 山武市山武福祉センター
- ・ 山武市簡易マザーズホーム
- 〔指定管理者〕
- 山武市白幡1627
- 社会福祉法人山武市社会福祉協議会

〔指定の期間〕

平成18年9月1日から平成21年3月31日まで

● 一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ240万4千円を追加し、予算の総額をそれぞれ199億6、140万4千円とするものです。

議会だより

編集委員会

委員長	鈴木 一
副委員長	行木 静
委員	小川 善郎
委員	小川 君江
委員	加藤 忠勝
委員	秋庭 久夫
委員	井野 敬一
委員	山崎喜世子

議会を

傍聴しましょう

次の定例会は、9月中旬に開催される予定です。

簡単な手続きで傍聴できます。

詳しくは議会事務局まで
電話 0475 (80)

1231

編集後記



新山武市の最大の課題は山武医療センター構想と成東病院の存続に尽きます。

この構想は、山武郡市で240億円の事業費をかけて医療地域の隅の千葉市寄り東金市丘山台へ建設して、成東病院は一般病床ゼロ、入院のできないリハビリと老人病院とする事で議決されて、県に申請され許可されたものです。この構想の変更を求めて市長になられた椎名新市長は、まず第一に成東病院の復活を、またこの医療センター構想を推進するなら建設場所を医療地域の中心部へ変更するか、または再検討すべきだ。それ迄この事業を凍結させると主張しています。

この事務を進めるに当たって事務を担当した山武郡市広域行政組合(以下組合)は、組合担当事業は各市町村の議決を待って組合規約を改正し県知事の許可を得

て初めて仕事ができる事になっていくにもかかわらず無議決、無許可で仕事を進め、申請間近になって急ぎよ各市町村の議決を求めた。この無議決、無許可の違法行為を監査請求し新聞記者会見したら「違法を知っていたらなぜ教えてやらなかったか、教えてやれば良かったではないか」と新聞記者。新聞記事にもせず違法を擁護する言動、新聞とは何ですか？

第1回の有識者会議、5人の委員全員がこの医療センター計画に否定的な意見、作文に過ぎない計画だと酷評される始末、秋葉座長も同調していたにもかかわらずそのまま申請を出し、県が許可しました。

大網白里町長は人口の少ない横芝光、山武より人口の多い大網白里、東金の方が利用者が多いので今の場所が良いと、千葉、長生、八街等の多勢の利用者が見込める現計画の病院建設費を山武地域で全額負担して運営されてその上病院をわざわざ遠いところへ作る。山武市民の皆さんどう思いますか？

第2回有識者会議7月10日で事務局案を事業費164億円、成東病院一般病床100床にして建設場所は同じと変更してきました。

秋葉座長(病院管理者予定者)は組合に辞表を提出しています。組合は受理せずに計画を進めています。某新聞記事

事情を知らない、知らざれていない？住民はびっくり。これはなんだと。(創刊号紙面の都合上、この欄でふれました。)

編集委員長 鈴木 一